



西念寺だより 文月号



令和3年7月10日

〒610-0331 京田辺市田辺北里29番地

TEL 0774-62-1027, 63-2912 FAX 0774-26-9683

今年もお盆が近づいて参りました

かくとだに えやはいぶきの さしも草

さしも知らじな 燃ゆる思ひを - 藤原実方朝臣 -

今年も例年よりも早く梅雨入りし、真夏のような暑さの日も多く、蒸し暑い日が続きますが、皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。コロナの影響も未だ収束の気配が見えない中、当山護持隆盛に何かと御配慮と御協力を賜りまして誠にありがとうございます。



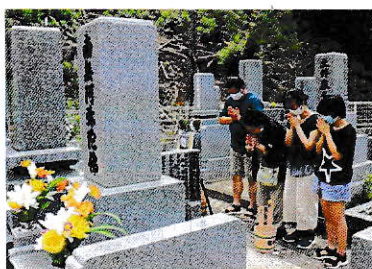
今年もお盆が近づいて参りました。棚経や十日盆の御案内を同封しておりますので御一読いただきまして、無事に終えられるよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、冒頭の和歌は平安時代中期の歌人、藤原実方朝臣の作です。小倉百人一首第51番の歌として知られ、サ行の音の繰り返しが面白く耳に残る歌として有名です。自分が想いを寄せる清少納言にその気持ちを伝えるため、彼女に負けないくらいの歌を作りたいと、この歌を作ったそうです。「えやはいふ」に近江と美濃の国境にある伊吹山の地名を掛け、同時に「伊吹のさしも草」が下句の「さしも」を導き出す同音反復の序詞となり、また「燃ゆる思ひ」の「ひ」に「火」が掛けられていたり、「さしも草」と「燃ゆる」「火」が縁語関係を結ぶなど、これでもかと言うほど多くの技巧によって構成されています。しかしその内容はというと、ただ拗ねているだけのような感じで圧倒的な言葉の技巧とは対蹠的な稚気さえ漂ってきます。今の時代なら手紙どころか、スマホやLINE、メールで済ましてしまうようなことを、内容はさておき、これ程の表現力を駆使できることばの力に感心させられます。

一方で現代社会は人との会話がなくてもさほど生活には困りません。インターネットを使えば、殆どことは自宅から出なくてもできる昨今、特にコロナの影響で在宅時間が多い今は尚更です。

ほんの少し前までは、何をするにも人と対面して用件を伝える必要がありました。正しく伝えるために言葉を選ぶことを無意識のうちに行い、用件以外に交わすちょっとした会話から嬉しい気持ちになったり、相手との親しみが生まれたり、人との繋がりが深まり、豊かな心を育む糧になったものでした。

しかし、最近の様々なトラブル事案のニュース等を見ていると、その根底には人との繋がりが希薄になったことで、自分の考えを自分の言葉で正しく表現する能力、即ちコミュニケーション能力が弱くなっていることにも一因があるような気がします。



お盆は普段離れてお暮らしの御家族や親しい方々と久しぶりにお出会いされ、仏壇やお墓にお参りをされる機会も多くなると思います。今に生きる私たちの命を繋いでくださった御先祖がどのような生き方をされ、徳を積んでこられたかを探ることは今を生きる上でとても大切なことです。皆様で亡き方々のメッセージに耳を傾け、互いに語り合うことはお互いの理解を深め、大切にすべきことが見えてくるのではないのでしょうか。

今さら申し上げるまでもなく、お盆は御先祖や父母に孝養することを願う大切な行事ですが、このような機会を捉えてコミュニケーション能力を磨きながら、豊かな人間性を育んでいくこともまた大切なことではないかと思えます。

裏面に続く

【本年度お盆行事について】

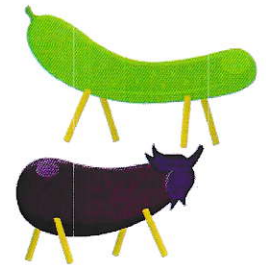
昨年につき、コロナウイルス感染予防のため、以下のように実施させていただきます。感染拡大等の変化があった場合は、皆様方の安全安心に配慮した対応に変更させていただきます。どうかともあろうかと存じます。何卒御理解御協力の程、宜しくお願い申し上げます。

- ・ **境内お墓参り**
 - ・ 例年どおり、5日(木)～7日(土)まで行います。
 - ・ 本堂内では、マスクとアルコール消毒液の使用をお願いします。
 - ・ お墓参りをお済ませいただき、本堂内で御回向申し上げます。
 - ・ 回向終了後、お茶を差し上げたいと思いますが、感染予防のため、缶入りのものをお出しさせていただきます。
- ・ **精霊迎え十日盆**
 - ・ マスクの着用と本堂・観音堂・鐘楼では、手指の消毒をお願いします。
 - ・ 卒塔婆を書かせていただくところは透明ビニール等で飛沫感染予防いたします。またお待ちいただく椅子も従来より広く配置します。
 - ・ 当日御都合がつかない場合は、FAXや郵送等での受付もさせていただきます。同封しております申し込み用紙をお使いください。
 - ・ これまで田辺朗寿会様の御協力で、参拝者の方々にかき氷の接待をお願いしていましたが、今回も中止させていただきます。なお、朝顔展は従来どおり開催させていただきます。
- ・ **棚経 (お盆の棚参り)**
 - ・ 従来どおりの方法で実施させていただきますが、マスクを着用してお伺いし、読経中はマスクを外させていただきます。
 - ・ 誠に勝手ながら、お茶等の御接待は昨今の諸事情から今回は御遠慮申し上げます。

・ 本堂内での地藏盆、祠堂施餓鬼

- ・ 今回も住職のみで実施させていただきます。永代祠堂寄進の皆様には誠に申し訳ありませんが御了承の程、お願い申し上げます。

以上が主な概要ですが、御不明な点や御希望、御意見等がございましたら、お寺または総代、評議員様まで御連絡お願い申し上げます。



【建築資金の御寄進について】

今回、下記の方から建築資金の御入金を賜りました。鐘楼、観音堂、山門等の第二期工事を控え、多くの資金が必要な中、厚く御礼申し上げます。

現在も毎月継続して分割御寄進いただいている方も多く、厚く御礼申し上げます。

建築資金	100万円	施主	杉山英樹氏
	100万円	施主	村田安隆氏
	50万円	施主	北川利夫氏
	10万円	施主	荻田富子氏



【京田辺音楽家協会のプリント配布について】

今回、京田辺音楽家協会主催「ファミリーアンサンブルコンテスト」の募集プリントを同封させていただきました。コロナウイルスの感染拡大により、ステイホームによる自粛疲れやともすれば塞ぎがちになる心を音楽を通して明るく、家族の絆を深める取組になればという趣旨が、佛教の大切な教えである「和合」-人はお互いに思いやり、解りあえる事が大切と言う教え-と共通すると思ひ、応援させていただいております。

音楽好きの皆様方、普段の成果の発表の場として、御家族お揃いでコンテストに参加されてはいかがでしょうか。

なお、このコンクールでは当山檀信徒である故吉山勝平氏の次女様、窪田継氏が同協会のベテラン役員として御活躍されております。

